

樺太時代の歴史・文化遺産の保護問題に関する 国際シンポジウム（第2回）

日時：10月5日（月）9：30～17：00

会場：北海道大学大学院工学研究科 A101 会議室

主催：国際交流基金

共催：在ユジノサハリンスク総領事館、サハリン州文化局、北海道大学大学院建築史意匠学研究室、北海道大学スラブ研究センター

コーディネーター 角 幸博（北海道大学大学院教授）

パネラー

○ I.V.ゴニョコーヴァ州文化局長：

「サハリンにおける日本の歴史・文化遺産の保護、保存及び活用に関するサハリン州行政府の政策」

○ E.I.サヴェリエヴァ州文化局顧問

「サハリンにおける樺太時代の文化遺産である諸施設の保存・活用コンセプト」

○ 角幸博北海道大学教授

「北海道における文化・歴史資産の保護・保存・活用の現状について」

○ I.A.サマリン州文化局顧問

「南サハリンの魅力的な文化遺産としての日本時代の橋梁」

（昼休み）

○ V.A.グリシェンコ・サハリン国立総合大学歴史学科上級講師兼ロシア科学アカデミーシベリア支部考古学・民族誌学研究所考古学・民族誌学サハリン研究室研究員

「サハリンの国際的石油・ガスプロジェクト（1997－2009年）における樺太時代の考古学・歴史学的遺産の保存」

○ 荒井信雄北海道大学スラブ研究センター教授

「サハリン州における歴史的 Identity の形成過程についての考察：20年間のサハリン体験に基づいて」

（休憩）

● 討論

